

第2期沼田町総合戦略



北海道 沼田町

目 次

第1章 基本的な考え方	2
1 人口動向からみた目標	3
2 戦略策定の意義	4
3 戦略策定の趣旨・背景・基本的な施策の方向	5
4 対象期間	5
5 位置づけ	5
6 持続可能な開発目標（SDGs）の推進	9
7 取り組み体制とPDCAサイクルの確立	9
8 住民主体のまちづくり：活動人口を増やし人口減少時代に対応する	10
9 まちの活動の質の向上を評価し「強いまち」を目指す	11
第2章 沼田町のめざす姿	12
1 総合戦略の4つの基本目標と2つの共通目標	13
2 総合戦略の全体構成	16
3 総合戦略の具体的な施策	17
基本目標1 持続可能な農村型コンパクトエコタウンを目指す	17
基本目標2 ひとが集い、つながりを大切にするまちづくりを目指す	23
基本目標3 子どもたちが帰ってきたくなるふるさとづくりを目指す	28
基本目標4 人生100年時代を安心して暮らせるまちづくりを目指す	33

第1章 基本的な考え方

1 人口動向からみた目標

目標 人口3,000人を維持する！

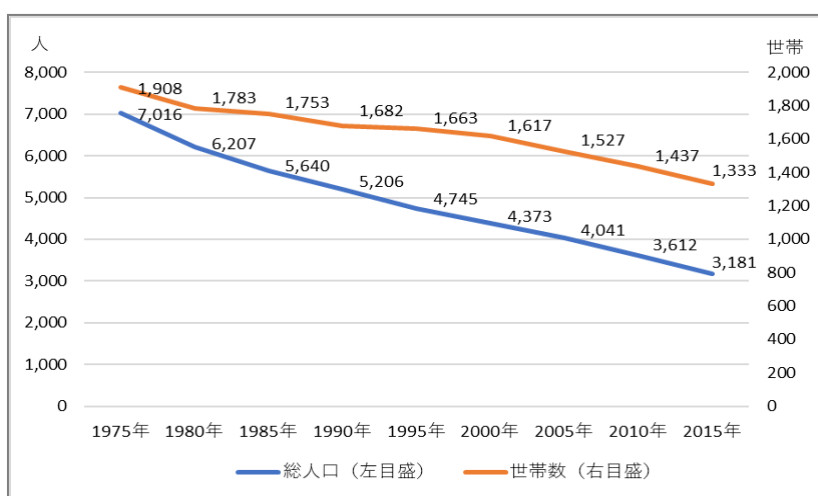
(1) 人口動向

① 総人口と総世帯数の動向及び推計

沼田町の人口は一貫して減少傾向にあります。2015年（平成27年）の国勢調査における総人口は3,181人であり、1975年（昭和50年）の半分以下に減少しています。

総世帯数も同様に減少傾向にあり、2015年（平成27年）は1,333世帯で、1975年（昭和50年）の約7割となっています。

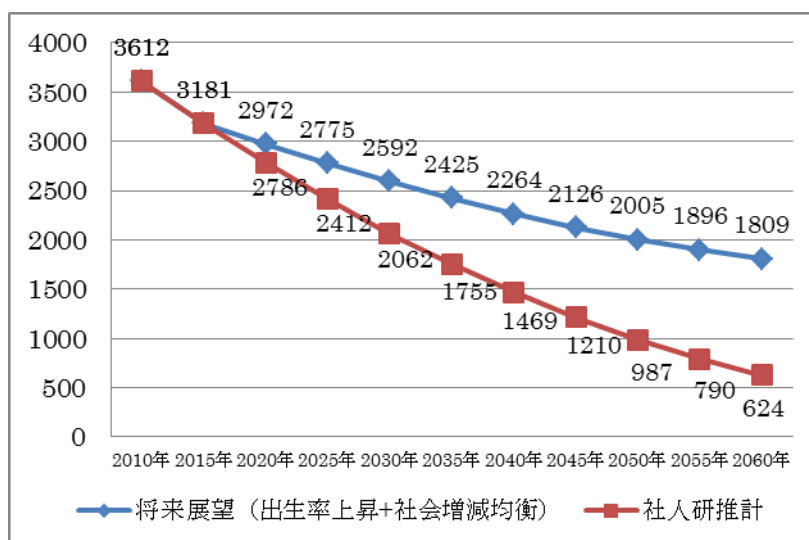
図表 沼田町の総人口と総世帯数の推移



出典) 総務省「国勢調査」

人口減少は今後も続くと考えられており、今後の人口の将来展望では、出生率が上昇し、かつ社会増減が均衡しても2040年（令和22年）の総人口は2,264人に減少すると推計しています。

図表 沼田町の将来人口推計



令和元年12月末人口は3,009人（高齢化率42.9%）です。町では当面の目標を人口3,000人を維持することとし、長期的展望に立った総合戦略を進めていきます。

2 戦略策定の意義

地方創生のモデル自治体となることを目指します

急速な少子高齢化の進展に伴う人口減少の時代には、地方が自ら考え、自分たちの手で持続可能な成長戦略を推進することが求められています。特に沼田町のような地方の小規模自治体は、地域の特性を最大限に生かした戦略を自分たちの手で進めることで、地方創生のモデルとなることが期待されています。

「参加なくして、未来なし」、住民とともに事業を推進します

人口減少の時代に地方が真に成長し続けるためには、行政だけでなく地域の住民が様々なかたちで地域づくりに参加することが必要です。沼田町では、「参加なくして、未来なし」という理念に基づき、コミュニティデザインの手法を活用しながら住民と行政が協働したまちづくりを進めています。

住民とともに沼田町農村型コンパクトエコタウン構想を推進しています

先行的な取り組みとして、平成 25 年度より住民とともに「沼田町農村型コンパクトエコタウン構想」を推進しており、内閣府の地域活性化モデルケースにも認定されました。

農村型コンパクトエコタウン構想は、市街地の歩いて暮らせる範囲に医療福祉・買い物・住まい等の生活に必要なサービスを集約し、まちをコンパクトにすることで雪国の課題を解決する取り組みです。本州と比べて土地所有の歴史が浅い北海道という地域性を生かし、全国でも例の少ない農村型コンパクトエコタウンの実現を住民とともに目指していきます。

沼田町ならではの総合戦略を提案します

本戦略においては、国の戦略を基礎に、コンパクトエコタウン構想を戦略の柱とすることで、沼田町ならではの戦略を策定します。また、地方創生の担い手である住民とともに総合戦略を策定し、今後の事業も協働して推進して行きます。沼田町は、コミュニティデザインの手法を活用しながら、住民とともに参加型の地域づくりを行うことで、地方の小規模自治体における持続可能な事業運営と成長を実現し、全国の地方創生のモデルとなることを目指します。

3 戦略策定の趣旨・背景・基本的な施策の方向

沼田町では、人口減少に歯止めをかけ、住民とともに地域づくりを進めていくため、沼田町総合戦略を策定し、各施策に取り組んできました。

先行的な取り組みとして、平成 25 年度に「沼田町農村型コンパクトエコタウン構想」を策定し、内閣府の地域活性化モデルケースにも認定され、住民とともに本町独自の地方創生に取り組んできた結果、個々の取り組みについては一定の成果を上げてきています。

しかしながら、全国的な「一極集中」や「少子高齢化・人口減少」の動向もあり、将来的に若者の流出が懸念される場所でもあります。

本町の人口も 1955 年の 19,362 人をピークに減少しており、3,181 人（2015 年国勢調査結果）まで落ち込んでいます。国立社会保障・人口問題研究所によると 2040 年には 2015 年比で総人口が約 46%となる見込みであります。

人口の減少は、少子高齢化や雇用の機会が減少したことで、若者が町外へ流出したことなどが原因と考えられます。

このような中、令和元年度をもって現総合戦略の計画期間が終了します。第 2 期の策定にあたり、国・道の人口ビジョン及び総合戦略では、ともに現行の枠組みを維持しながら必要に応じた施策の拡充を図っていることから、本町においても、第 1 期総合戦略の枠組みを継承しつつ、これまでの取り組みの検証や沼田町第 6 次総合計画を勘案し、子育て環境の充実、関係人口の拡大を進め社会増につなげるとともに、高齢者を含めた雇用の場を創出し持続可能なまちづくりを目指すべく、切れ目のないよう「第 2 期沼田町総合戦略」の策定を行いました。

4 対象期間

令和 2 年度（2020）から令和 6 年度（2024）までの 5 年間とします。

5 位置づけ

第 2 期総合戦略は、本町のまちづくり最上位計画である「沼田町第 6 次総合計画」における 3 つの重点戦略、5 つの基本目標を総合戦略の基本目標に位置付け、沼田町第 6 次総合計画と整合を図りながら、戦略的に施策の推進に取り組むこととします。

また、少子高齢化や人口減少社会が進行する中、地方創生に取り組むうえで、町民と協働のまちづくりを進め、各町との連携をより強化し定住自立圏の取り組みを進めていきます。

■「沼田町第6次総合計画」における3つの重点戦略

【沼田町全力宣言！プロジェクト】

(1) 魅力！活気！元気！持続可能プロジェクト

(農業・商工業関連)

基幹産業である農業において、将来を見据えた総合的戦略を図るとともに、商工業ではまちのにぎわいを創出することによる様々な分野の取り組みを有機的に結びつけ、町内外のひとやもの・情報など循環できる仕組みづくりを展開します。

また、企業誘致の取り組みにも力を入れ、雇用の場を確保するとともに地元企業のサポート体制も進めていき、将来に向かって持続可能なまちづくりを進めていきます。

(2) オンリーワン！世界に発信プロジェクト

(資源・観光PR関連)

本町には、夜高あんどん祭りやほたる、化石や雪エネルギーなど他にはない特色ある資源がたくさんあります。この資源を「食」や「観光」と絡めた様々な取り組みを展開し、多くの方に沼田町の良さを知っていただくことで、交流人口の拡大を図り、活力と潤いのあるまちづくりを進めていきます。

(3) 沼田で育って良かった！こども応援プロジェクト

(キャリア教育・子育て関連)

将来こどもたちが沼田町に帰ってきてもらい、世界に羽ばたいてもらえるよう様々な生きた経験を体験できるキャリア教育の充実を図り、また元気にのびのびと運動ができるようスポーツ環境の充実を図ることによる本町独自の教育環境づくりを進めていきます。

子育て世代においては、更なる子育て支援策の充実や日常の不安や悩みを解決できるよう子育て環境の整備を図り、誰もが住んでみたい、住んでよかったと安心して子育てできるまちづくりを進めていきます。

■「沼田町第6次総合計画」における5つの基本目標

(1) いつまでも幸せに暮らせるまちづくり（健康・医療・福祉・子育て）

誰もがいきいきと暮らし続けられるよう、健康づくりや食育の推進、医療・介護サービスの充実を図るとともに、子育ての包括的な支援をはじめとする各種福祉サービスの充実を図ります。

(2) にぎわいのあるまちづくり（産業・しごと・観光振興・移住定住）

基幹産業である農業の振興や、暮らしを支える商工業の振興を図るとともに、まちのPRを積極的に推進し、活力とにぎわいのまちづくりを推進します。

また、農業、ものづくり、商工業において、一人ひとりが個性を活かし生き活きと楽しく働け、新しい分野にも挑戦できる雇用環境、ビジネス環境を整備するとともに雇用対策にも努めていきます。

(3) 希望を育むまちづくり（教育・文化・スポーツ）

沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現のため、夢や希望の実現に挑戦し、生涯にわたって自己実現を目指し、ふるさとに誇りを持ち、国際社会をたくましく生きる人材を地域ぐるみで育てていきます。

(4) 安心・安全に暮らせるまちづくり（安心・安全・環境）

いつまでも安心して生活が送れるよう快適な生活環境整備を進めるとともに、防犯対策や災害対策など強化し、誰もが安全に暮らせるまちづくりを進めます。

(5) 町民とともにつくるまちづくり（協働・行財政）

町民自らが地域の課題解決に向けて積極的に取り組む協働のまちづくりを目指します。

また、財源の確保による財政基盤の確立を図るとともに、民間活力の導入や広域連携などによる行財政改革を推進します。

.....
国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で示された4つの基本目標と2つの横断的目標に基づき、沼田町ならではの戦略ビジョンを提案します。

■国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」4つの基本目標

- 1 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

■国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」2つの横断的目標

- 1 多様な人材の活躍を推進する
- 2 新しい時代の流れを力にする

■第2期沼田町総合戦略策定における各計画関連図

国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」4つの基本目標

- 1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
- 2 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
- 3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」2つの横断的目標

- 1 多様な人材の活躍を推進する
- 2 新しい時代の流れを力にする

【今まで】沼田町総合戦略4つのプラン（H27年度～R1年度）

Plan 1
コンパクトな
まちを目指す

Plan 2
最期まで健康で安心して
暮らせるまちを目指す

Plan 3
農業を柱とした
若者中心の小さな
経済づくりを目指す

Plan 4
子どもが戻ってくる
ふるさとづくりを目指す

【これから】第2期沼田町総合戦略4つの基本目標（R2年度～R6年度）

基本目標 1
持続可能な農村型
コンパクトエコタウンを
目指す

基本目標 2
ひとが集い、つながりを
大切にするまちづくりを
目指す

基本目標 3
子どもたちが帰ってきたくなる
ふるさとづくりを目指す

基本目標 4
人生100年時代を安心して
暮らせるまちづくり
を目指す

【これから】第2期沼田町総合戦略2つの共通目標（R2年度～R6年度）

共通目標 1 **多様な人材が活躍できる環境づくり**

共通目標 2 **未来技術を活用したまちづくり**

「沼田町第6次総合計画」における3つの重点戦略

- (1) 魅力！活気！元気！持続可能プロジェクト
- (2) オンリーワン！世界に発信プロジェクト
- (3) 沼田で育って良かった！こども応援プロジェクト

※5つの基本目標はP7参照

6 持続可能な開発目標（SDGs）の推進

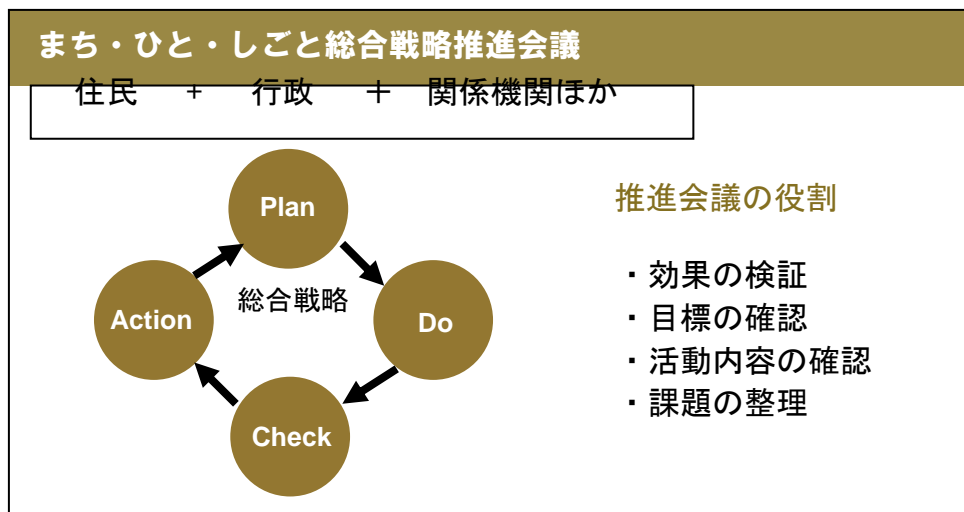
国際社会全体の共通目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」と第2期総合戦略の施策を関連付けて地方創生の取り組みを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



7 取り組み体制とPDCAサイクルの確立

戦略の期間中は、事業の達成度や時代潮流の変化を確認するために定期的な見直しを行います。総合戦略で実施する各施策には、重要業績評価指標（KPI）を設定し、達成度や効果等を客観的に検証し、継続的に事業を改善していきます。このような仕組みを推進していくために、産官学金労言及び住民の代表者等から構成される「まち・ひと・しごと総合戦略推進会議」を中心に協働によるまちづくりを進めていきます。

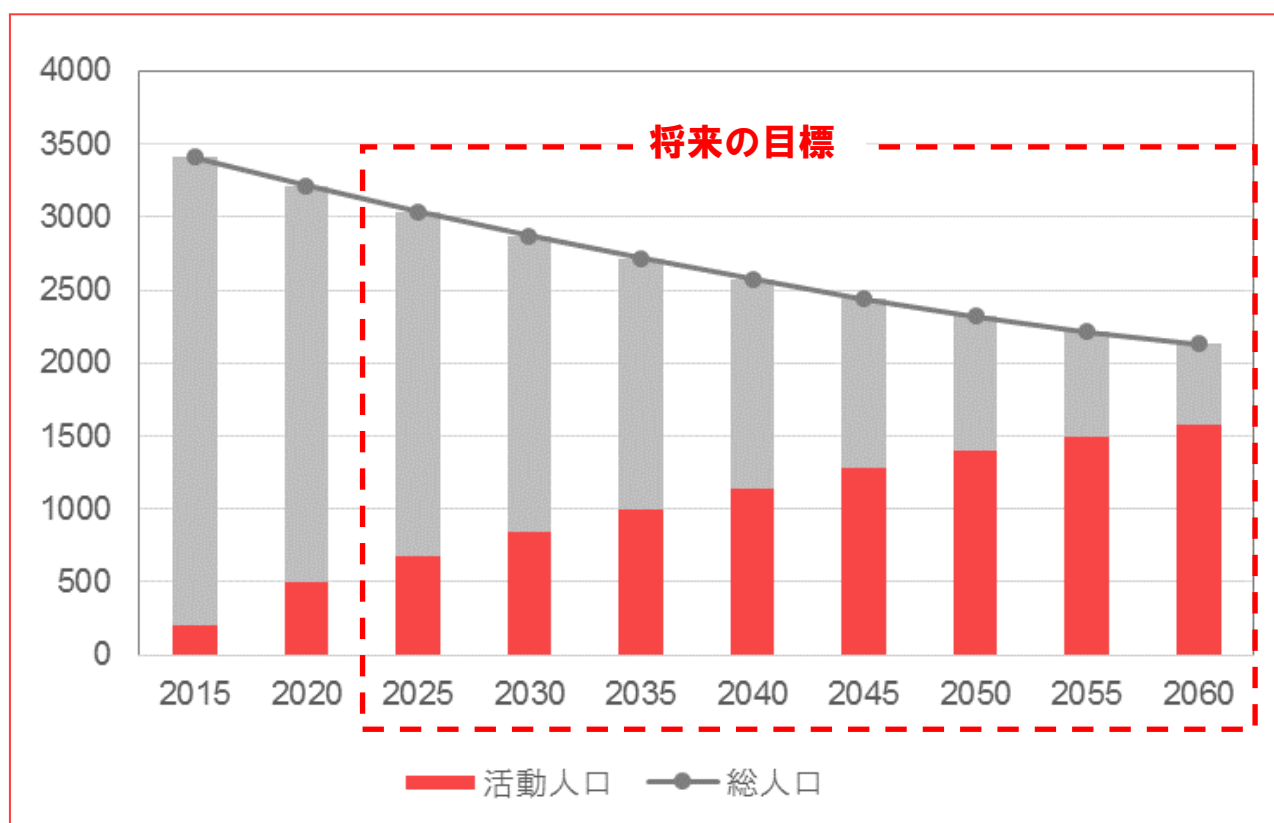


8 住民主体のまちづくり：活動人口を増やし人口減少時代に対応する

沼田町は、住民と共に総合戦略の事業を推進します。総合戦略における住民主体のまちづくりの評価の指標として、活動人口の増加を達成度の基準とします。

総合戦略において、人口減少を緩やかにする対策を行うとともに、まちづくりの活動に参加する活動人口を増やします。活動人口を増やし、住民と行政が協働してまちづくりを行うことで、人口減少時代にも質の高いサービスを実現できるまちを目指します。

まちの将来を考え、自ら行動できる意識の高い住民や行政職員の数で未来は大きく変わります。沼田町は住民参加の事業を通して、住民と行政職員の意識改革に取り組んでいます。

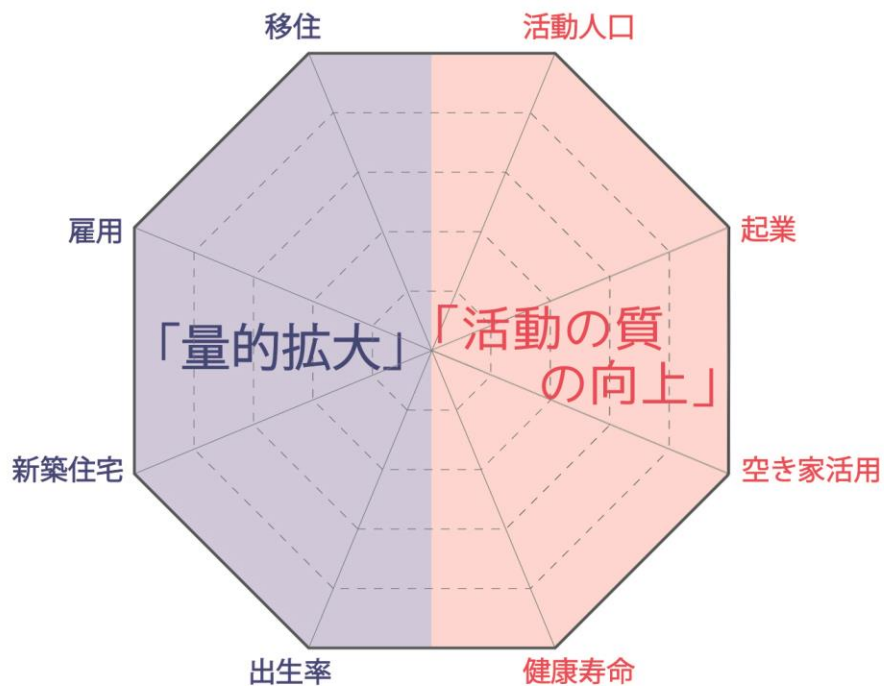


9 まちの活動の質の向上を評価し「強いまち」を目指す

地方の小規模自治体が持続的に成長を続けるためには、人口減少時代のキーワードに基づいた、まちの「活動の質の向上」が必要だと考えています。それは、大企業に負けない技術力や意識の高いスタッフを育てる中小のベンチャー企業の組織づくりに例えることができるかもしれません。

沼田町は、移住者の促進や雇用の場の確保といったまちの規模に関わる「量的拡大」を目指すとともに、活動人口や新しく仕事をつくる起業者などまちづくりを担う人材の育成や空き家の活用などまちの課題を解決する取り組みを促進するまちの「活動の質の向上」を目指します。まちの「活動の質の向上」に重点を置き総合戦略を推進することで、人口減少時代を生き抜く強い体質のまちを目指します。

まちの「活動の質の向上」を目指す指標



第2章 沼田町のめざす姿

1 総合戦略の4つの基本目標と2つの共通目標

第2期総合戦略においては、人口減少と少子高齢化が進展する中であっても、沼田町第6次総合計画の将来像である「子どもたちが誇りをもてる ふるさと創造 沼田町」に向かって、誰もが将来にわたってずっと住み続けられるまちづくりを目指すために、次の4つの重点戦略プラン（基本目標）と2つの共通目標を定めます。

また、基本目標毎に第1期総合戦略の検証や新たな視点を踏まえ、施策の基本的方向と具体的な施策を定めて取り組みます。

基本目標1

持続可能な農村型コンパクトエコタウンを目指す



平成25年度より継続して住民と共に進めている沼田町農村型コンパクトエコタウン構想を中心に、市街地の歩いて暮らせるコンパクトなエリアに、小さな拠点施設や高齢者及び若い世代の住まいなど集約し、子どもから大人まで集えるコミュニティの場を創出し、雪国の課題を解決する農村型コンパクトエコタウンの実現を目指します。

また、沼田町独自の地方創生を実現するためには、新たな企業の誘致、「くらし」と「しごと」を結び付け、町の魅力を発信し新たな「ひと」を呼び込めるよう雇用対策を講じていきます。

基幹産業である農業においては、農家人口の減少や農業従事者の高齢化が進む中で、農業の持続的発展を図るために、将来を見据えた更なる質の向上や生産性の高い、強い農業への取組みを進めていきます。

町の特産品については、「雪中米」や「トマトジュース」等の更なる販路拡大、新たな商品開発、6次産業化を図り、稼げる地域づくりを進めていきます。

基本目標 2

ひとが集い、つながりを大切に作るまちづくりを目指す



沼田町には、夜高あんどん祭りやほたる、化石や雪エネルギーなど他にはない特色ある資源、また子育てしやすい環境、自然あふれる暮らしやすい環境が充実しています。

この沼田町独自の魅力あるブランド力を高め、町内外に発信し、移住定住につなげていきます。また商工業を中心としたにぎわいのあるまちづくりを産官学連携により展開し、継続した「ひと」のつながりを生み出し、関係人口の拡大を図ります。

基本目標 3

子どもたちが帰ってきたくなるふるさとづくりを目指す



将来子どもたちが沼田町に帰ってきてもらう、世界に羽ばたいてもらえるよう様々な生きた経験を体験できるキャリア教育の充実を図り、また元気にのびのびと運動ができるようスポーツ環境の充実を図ることによる本町独自の教育環境づくりを進めていきます。

子育て世代においては、更なる子育て支援策の充実や日常の不安や悩みを解決できるよう子育て環境の整備を図り、妊娠・出産から子どもの成長過程にあわせた切れ目のない支援を行い、誰もが住んでみたい、住んでよかったと安心して子育てできるまちづくりを進めていきます。

基本目標 4

人生 100 年時代を安心して暮らせるまちづくりを目指す



沼田町では、農村型コンパクトエコタウン構想のひとつである医療福祉の複合施設である「暮らしの安心センター」を拠点とし、高齢者の在宅医療福祉を推進するとともに、高齢者がいつまでも健康でいきいきと暮らすことができるよう高齢者活躍の場づくりを推進します。

また、高齢者の医療を含む相談支援、生活習慣病や介護予防、健康づくり、子育て支援

等、多世代型の地域包括ケアを実現し、誰にとっても生きがいを持てる、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

.....
4つの基本目標の達成に向け、2つの横断的な共通目標を定め、地方創生の実現を目指します。

共通目標1 多様な人材が活躍できる環境づくり

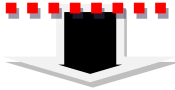
「まちづくりは、ひとづくり」。まちの地域資源を活用しながら、町民はもとより、まちづくりに関わる全ての「ひと」が地域の担い手として自ら積極的に参画できる活躍の場づくりを進めていきます。

また、子ども、女性、高齢者、障がい者、学生、外国人など誰もが活躍できる、多様性に富んだ地域社会をつくり、お互いの交流によってつながりが持てる、地域全体で支え合う体制づくりを進めていきます。

共通目標2 未来技術を活用したまちづくり

人口減少社会の到来、少子高齢化の進行など様々な課題について、ICT技術を用いて解決し、将来にわたり活力あるまちづくりを進めていきます。

また、国際社会全体の共通目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」を取り入れ、総合戦略の推進を図ります。



将来の人口減少に歯止めをかけるため、「人口 3,000 人を維持する」ことを目標としてオールぬまたによる関係人口拡大へ向け、全力で挑戦していきます。

- ① 関連する「人口」増へ！＝交流人口
- ② 継続した関係を構築へ！＝関係人口
- ③ 移住（住みたい）、定住（ずっと住みたい）による人口増へ！＝移住・定住人口



2 総合戦略の全体構成

第2期沼田町総合戦略4つの基本目標と具体的施策

基本目標

目標達成のための具体的施策

基本目標 1

持続可能な農村型
コンパクトエコタウンを目指す



- 方針1 農村型コンパクトエコタウンの実現
- 方針2 雇用対策の推進
- 方針3 企業誘致の推進
- 方針4 魅力ある農業をつくる
- 方針5 特産品による魅力づくり
- 方針6 農福連携の推進

基本目標 2

ひとが集い、つながりを大切にする
まちづくりを目指す



- 方針1 移住定住の促進
- 方針2 関係人口の創出・拡大

基本目標 3

子どもたちが帰ってきたくなる
ふるさとづくりを目指す



- 方針1 子育て環境の充実・支援、結婚への支援
- 方針2 沼田らしい教育づくり

基本目標 4

人生100年時代を安心して
暮らせるまちづくりを目指す



- 方針1 地域包括ケアシステムの実現



共通目標

共通目標1 多様な人材が活躍できる環境づくり

共通目標2 未来技術を活用したまちづくり

3 総合戦略の具体的な施策

【基本目標 1】

持続可能な農村型コンパクトエコタウンを目指す

平成25年度より継続して住民と共に進めている沼田町農村型コンパクトエコタウン構想を中心に、市街地の歩いて暮らせるコンパクトなエリアに、小さな拠点施設や高齢者及び若い世代の住まいなど集約し、子どもから大人まで集えるコミュニティの場を創出し、雪国の課題を解決する農村型コンパクトエコタウンの実現を目指します。

また、沼田町独自の地方創生を実現するためには、新たな企業の誘致、「くらし」と「しごと」を結び付け、町の魅力を発信し新たな「ひと」を呼び込めるよう雇用対策を講じていきます。

基幹産業である農業においては、農家人口の減少や農業従事者の高齢化が進む中で、農業の持続的発展を図るために、将来を見据えた更なる質の向上や生産性の高い、強い農業への取組みを進めていきます。

町の特産品については、「雪中米」や「トマトジュース」等の更なる販路拡大、新たな商品開発、6次産業化を図り、稼げる地域づくりを進めていきます。

指 標	基準値	目標
従業者数	1,490 人	1,600 人

※経済センサス従業員数より 基準値 H26

【具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）】

方針 1：農村型コンパクトエコタウンの実現

市街地中心部に医療福祉施設・買い物・住まい等の施設を集約させた「暮らしの安心センター」、「まちなかほっとタウン」を拠点とし、住民と共にコンパクトな拠点づくりを進めます。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策1：コンパクトなまちづくり</p> <p>高齢者を対象に、市街地の医療施設周辺に高齢者住宅の建設を目指し、コンパクトなまちを実現します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者住宅建設事業 ・ あるくらす周辺整備事業 等 	<p>高齢者の住替え件数 延べ10件</p>

方針2：雇用対策の推進

雇用不足の解消、地元の子どもが本町で仕事ができる環境づくりを進めるとともに、女性や高齢者などが活躍できる体制を構築していきます。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策1：若者の新規就業・回帰の促進</p> <p>高卒・大卒者を中心に沼田町でしごとを見つけ、定住してもらえるよう就職説明会やインターンシップなど実施するとともに、UIJターン支援策など実施し雇用対策を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ U I J ターン新規就業支援事業 ・ しごと・未来応援プロジェクト事業 ・ 地域おこし協力隊起業支援事業 ・ 奨学資金貸付事業（貸付金、償還免除枠の拡大） 等 	<p>高卒・大卒新規就業者及びUIJターンによる就業者数（累計） 20人</p>

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策2：地域における雇用対策</p> <p>町無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」を中心に、雇用不足に悩む企業等へ求職者を紹介できる体制を進めます。</p> <p>また、地元企業を中心とした就職・企業説明会、企業PRの場等を設け、雇用対策を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」 ・しごと・未来応援プロジェクト事業 ・移住定住関連事業（連携） ・沼田町介護職員人材バンク ・保育士、介護従事者人材確保支援事業 ・奨学資金貸付事業（貸付金、償還免除枠の拡大） 等 	<p>無料職業紹介所による 就業者数</p> <p style="text-align: right;">延べ30名</p>
<p>◆施策3：女性の多様な働き方の支援</p> <p>しごとと家事が両立ができるよう福祉や高齢者の家事支援、農業の手伝いなど小さな仕事を募集し、短時間就労の希望者とのマッチングを行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」 ・ワーク・ライフ・バランスの実現 等 	<p>無料職業紹介所による働く ママ就業者数</p> <p style="text-align: right;">延べ10名</p>
<p>◆施策4：高齢者活躍の場の創出（雇用関連）</p> <p>町内における元気な高齢者がいきがいくりのひとつとして雇用やボランティアに関われる体制を構築します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町無料職業紹介所「ぬまわーくサポートデスク」 ・シルバー人材センター ・高齢者雇用促進協議会の立ち上げ 等 	<p>高齢者就業者 （ボランティア）数</p> <p style="text-align: right;">延べ50名</p>

方針3：企業誘致の推進

新たな雇用の場を確保するため、引き続き企業誘致活動を進め、企業立地を進めていきます。

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策1：企業誘致と工業団地の確保</p> <p>新たな企業誘致に向け、引き続き企業誘致活動を進めるとともに、魅力的な工業団地の確保に努めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致アンケート調査 ・企業訪問活動 ・企業立地促進補助金 ・サテライトオフィス設置促進事業 等 	<p>新規企業誘致数 延べ1件</p>

方針4：魅力ある農業をつくる

基幹産業である農業において、農家人口の減少や農業従事者の高齢化が進む中で、農業の持続的発展、農作業の省力化・効率化を図るため、スマート農業を進め、魅力ある稼げる農業を目指します。

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策1：新規就農、参入支援策の充実</p> <p>農業経営者の高齢化や労働力不足の課題に対し、魅力ある農業を創る人材の確保と育成を行います。五カ山地区にある就農支援実習を活用した新規就農育成プログラムを構築し、都市部から地域おこし協力隊による農業支援員を招聘した指導育成を行うことで、人材の確保と定住を図ります。また、農業系大学と連携し、農業繁忙期における大学生の受入を行うことで労働力の確保を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業新規参入推進事業 ・農業研修生受入事業 ・地域おこし協力隊事業 ・農業者育成研修施設開設事業 等 	<p>新規就農を目指す研修生 (協力隊含む) 延べ5人</p>

具体的な施策・事業	KPI
<p>◆施策2：農業生産法人化の推進</p> <p>農業経営者の高齢化等から規模縮小や離農も想定され、新たな雇用の創出や労働力の確保を図ることで耕地面積を維持し、農業経営の複合化や6次産業化の推進による所得の向上に対する支援等を行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業所得向上対策事業（法人設立、法人協業化組織、機械導入、法人ネットワーク設立支援 等） ・ 6次産業化推進事業 等 	<p>新規設立農業生産法人数 延べ2件</p>
<p>◆施策3：スマート農業の推進</p> <p>生産性の飛躍的な向上や作業の省力化・効率化を実現するため、スマート農業を進めるとともに、これらを駆使できる農業者等の育成を支援します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スマート農業実証実験事業 ・ ICT活用における農業人材育成事業 等 	<p>スマート農業に取り組んだ農家戸数 延べ10件</p>

方針5：特産品による魅力づくり

町の特産品の更なるPR, 販路拡大、海外販路開拓等行うとともに、地域資源を活用した新たな商品開発を進め、地域産業の活性化を図ります。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策1：特産品や農産加工品の販路拡大・商品開発</p> <p>沼田町の特産品である「雪中米」や「トマトジュース」等の更なる販路拡大のため、ふるさと納税者や東京にある北海道アンテナショップ、東京23区との交流等でPRを行うことにより販路を拡大します。</p> <p>また農産物を活かした商品開発、ご当地グルメの開発を進め、地産地消の推進を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化推進事業 ・作付全道一加工用トマト作付拡大推進事業 ・雪中米販路拡大事業 ・特産品等販路拡大事業 ・特産品及びご当地グルメ開発等地産地消事業 ・学校給食を通じた地産地消推進事業 等 	<p>特産品や農産加工品の新規販路成約件数</p> <p style="text-align: right;">年間15件</p> <p>新たな商品開発</p> <p style="text-align: right;">1品</p>

方針6：農福連携の推進

働き手の確保や地域農業の維持、更には地域活性化につながることを期待できる農福連携を進め、障がい者や生活困窮者等の就労訓練や雇用、高齢者の生きがいの場を創出します。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策1：農福連携の推進</p> <p>就農支援実習農場をフィールドの中心として、障がい者、高齢者、町内介護福祉施設等の利用者が社会参加、生きがいづくりとなる農福連携を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農福連携事業 ・障がい者雇用対策事業 ・障がい者通所施設開設事業 等 	<p>農福連携等による就労者数</p> <p style="text-align: right;">年間平均10人</p>

【基本目標 2】

ひとが集い、つながりを大切にするまちづくりを目指す

沼田町には、夜高あんどん祭りやほたる、化石や雪エネルギーなど他にはない特色ある資源、また子育てしやすい環境、自然あふれる暮らしやすい環境が充実しています。この沼田町独自の魅力あるブランド力を高め、町内外に発信し、移住定住につなげていきます。また商工業を中心としたにぎわいのあるまちづくりを産官学連携により展開し、継続した「ひと」のつながりを生み出し、関係人口の拡大を図ります。

指 標	基準値	目標
社会増減数（単年度）	▲25 人	+30 人

【具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）】

方針 1：移住定住の促進

東京圏の一極集中を是正するために、更なる町のブランド力を高め、他町にない魅力を発信することによる移住マネジメントを積極的に展開するとともに、移住後もきめ細やかなサービス体制を図ります。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 1：沼田ブランドの強化</p> <p>沼田町にしか出来ない沼田町らしさ（ブランディング）を磨き上げ、他町との差別化を図り、「住んでよかった」と実感できる事業を展開し、移住定住へとつなげます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・移住定住ブランディング戦略事業・町外通勤者移住支援事業・子育て世帯町外通勤者支援事業・がんばる高校生応援手当助成事業 等	移住相談を受けたもののうち移住した件数（累計） 10 件

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：お試し住宅による移住促進</p> <p>移住希望者が沼田町の生活を体験でき、移住のきっかけとなるちょっと暮らしを積極的にPRし移住促進に努めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・働きながらのちょっと暮らし事業 ・沼田版CCRC推進事業 等 	<p>お試し住宅稼働率</p> <p>30%</p>
<p>◆施策3：住まいの充実による移住・定住の促進</p> <p>町内には単身者のニーズに合う住宅が不足しています。また、親と同居する若者世代が自立し、結婚を促進する住宅の整備も必要です。子育て世代を対象とした住宅を含め整備し、民間と連携し不足する住宅の整備を進め、若者の移住定住を促進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間賃貸住宅建設促進事業 ・住んで快適、暮らして満足移住定住応援奨励事業 ・住んで快適住まいる応援奨励金事業 ・ヤング世代移住促進家賃助成事業 ・子育てファミリーサポート住宅整備事業 ・新規就農者及び医療・介護職員用住宅整備 等 	<p>住宅の整備による定住者数</p> <p>24人</p>
<p>◆施策4：移住相談窓口の充実</p> <p>定住支援員、移住コーディネーターを配置した、ワンストップサービスの充実を図り、移住者が移住後も地域住民との交流が図れる事業展開を実施します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住コーディネーター、定住支援員の配置 ・地域おこし協力隊事業 ・移住者交流事業 等 	<p>移住相談を受けたもののうち移住した件数（累計）</p> <p>10件（再掲）</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策5：UIJ ターン移住のためのツールづくり</p> <p>UIJ ターン移住のきっかけづくりを行うため、支援事業を充実するとともに移住フェアなど積極的なPR 活動を実施します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UIJ ターン新規就業支援事業 ・移住フェア又は新規就農フェアへの積極的参加 ・地域おこし協力隊起業支援事業 ・孫ターン奨励金事業 ・奨学資金貸付事業（貸付金、償還免除枠の拡大） 等 	<p>沼田町出身のUターン就職者数（累計）</p> <p>10人</p>

方針2：関係人口の創出・拡大

本町には、夜高あんどん祭りやほたる・化石・クラウド15号蒸気機関車など他にはない特色ある資源があります。この地域資源を一体的に取り組む持続可能な高付加価値な観光づくりを展開し、様々な「ひと」が体験・交流・活動できる持続可能な魅力あるまちづくりを進め、交流人口・関係人口の拡大を目指します。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策1：地域資源を活かした関係人口の拡大</p> <p>緑豊かな自然を舞台に、「夜高あんどん祭り」や「ほたる」、「化石」、「クラウド15号蒸気機関車」など本町の地域資源・農産物や観光施設の情報を一体的に取り組み、「見る」「体験する」「交流する」ことで交流人口・関係人口の拡大を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オール沼田による SNS 発信強化プロジェクト ・まるごと自然体験プロジェクト事業 ・ほたる学習館管理事業 ・サテライトオフィス及びワーケーションの推進 ・夜高あんどん祭りの開催 ・ほたる祭りの開催 ・化石体験・調査研究事業 ・農業体験型親子交流事業 ・炭鉄港 PR 関連事業 ・インバウンド関連事業 ・北海道及び近隣町との広域連携による事業 等 	<p>観光入込客数</p> <p>年 150,000人</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：にぎわいのあるまちなかづくり</p> <p>町内消費の推進や、まちなかほっとタウンを中心とした中心市街地に、活気を取り戻す取り活力とにぎわいのあるまちづくりを進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にぎわい活性化イベント事業 ・商工会活性化サポート支援 ・チャレンジショップ活動の場創出事業 ・JR 利用促進事業 等 	<p>チャレンジショップ等新規活動の場 年5件</p>
<p>◆施策3：観光を中心としたインバウンド対策</p> <p>今後、北海道において外国人の旅行者が増えることが予想されるため、地域資源の更なる磨き上げをし、「行ってみたい」「また行きたい」と思ってもらえるPR 戦略を進め交流・関係人口の拡大を目指します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けインバウンド対策事業 ・人材育成事業 ・宿泊と観光資源パックの海外PR 等 	<p>観光を中心とした外国人訪問者数 年50人</p>
<p>◆施策4：雪エネルギーの利活用</p> <p>雪冷熱エネルギー等の利活用による産業振興や雇用の創出に向けた取り組みを推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雪中米消費拡大事業 ・雪エネルギー利用促進プロジェクト ・備蓄米基地づくり事業 ・雪氷桜プロジェクト事業 等 	<p>雪関連新規PR 事業 5件</p>
<p>◆施策5：大学等との地域間交流</p> <p>町と連携協定を結んでいる北海学園大学等と連携し、町と大学等のそれぞれの課題や問題解決できるマッチングに取り組んでいきます。また地域での活動や各行事の参加により地域住民との交流を深め、継続的な関係性を構築し関係人口の拡大を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町と大学（団体）間連携事業 ・ぬまた地域大学の開講 ・ぬまたサテライトキャンパスの検討 ・セルフリノベーションハウス事業 等 	<p>大学生等訪問人数 年100人</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策6：ふるさと納税による関係人口拡大</p> <p>沼田町の出身者やふるさと納税者が沼田町民と同じ扱いとすることができる（準町民）「ぬまた応援サポーター制度」を構築します。また、企業版ふるさと納税による町と企業によるつながりを強化し関係人口の拡大を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税及び企業版ふるさと納税のPR戦略 ・ぬまた応援サポーター制度 等 	<p>サポーター制度による来訪者数</p> <p style="text-align: right;">100人</p>
<p>◆施策7：広域的な地域づくりの推進</p> <p>各市町と連携し、それぞれの特色ある資源を活用したまちづくりを展開するとともに、課題解決を互いに共有し解決できる更なる連携体制を進めていきます。</p> <p>【具体的取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北空知1市4町による定住自立圏構想 (深川市・秩父別町・北竜町・妹背牛町・沼田町) …学校給食による地産地消事業 ・小平・幌加内・沼田3町広域振興協議会 等 	<p>新たな広域連携事業</p> <p style="text-align: right;">5</p>

【基本目標 3】

子どもたちが帰ってきたくなるふるさとづくりを目指す

将来子どもたちが沼田町に帰ってきてもらい、世界に羽ばたいてもらえるよう様々な生きた経験を体験できるキャリア教育の充実を図り、また元気にのびのびと運動ができるようスポーツ環境の充実を図ることによる本町独自の教育環境づくりを進めていきます。

子育て世代においては、更なる子育て支援策の充実や日常の不安や悩みを解決できるよう子育て環境の整備を図り、妊娠・出産から子どもの成長過程にあわせた切れ目のない支援を行い、誰もが住んでみたい、住んでよかったですと安心して子育てできるまちづくりを進めていきます。

指 標	基準値	目 標
出生者数（単年度）	16.4 人	20 人

※基準値（H27-31 の平均値）

【具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）】

方針 1：子育て環境の充実・支援、結婚への支援

更なる子育て支援策の充実や日常の不安や悩みを解決できるよう子育て環境の整備を図り、妊娠・出産から子どもの成長過程にあわせた切れ目のない支援を行う、安心して子どもを育てていくことができるまちづくりを目指すとともに、結婚を希望する男女の出会いの場を創出、支援します。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 1：出産・子育ての相談支援の場づくり</p> <p>子育て世代包括支援センターを中心に、子育ての包括的な支援に努めます。また、誰もが気軽に話し合えるコミュニティづくりも併せて行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・マタニティクラブの開設・訪問・通所型産後ケア事業・子育てサロン交流事業・暮らしの保健室事業・子育てカウンセラーの任用 等	<p>相談支援、コミュニティの場に参加する人数</p> <p>年 20 人</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：子育て施設の充実と人材育成</p> <p>認定こども園や子育て交流広場を中心に親子が集う場、相談事業を推進します。また、専門的な子育て支援員の配置や住民とのサポート体制を構築し、安心して育てられる環境整備を進めます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園運営事業 ・子育て交流広場「えがお」運営事業 ・ファミリーサポート事業 ・子育て支援員の配置、子育てボランティア事業 ・ファミリーホーム開設事業 ・保育士人材確保事業 ・子育てカウンセラーの任用 等 	<p>ファミリーサポート事業 利用者数</p> <p style="text-align: right;">年10件</p>
<p>◆施策3：子どもの健康を守るための支援の充実</p> <p>子どもの医療費や検査、予防接種等の経済的支援を拡充し、子どもの健康を守ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人風疹ワクチン予防接種助成事業 ・乳幼児等任意予防接種助成事業 ・乳幼児等医療費助成事業 ・乳幼児の歯科健診・フッ素塗布事業 ・中学生、高校生医療費助成事業 等 	<p>子育て世帯における子育て支援策の満足度</p> <p style="text-align: right;">80%</p>
<p>◆施策4：第2子以降が安心して産める経済的支援の充実</p> <p>第2子以降を産みやすい環境を整備するため、多子世帯の経済的負担を軽減するとともに、その他子育て世帯への助成を拡充します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て世帯応援通勤支援事業 ・子育て世帯冬期暖房費助成事業 ・子育て出産応援事業 等 	<p>第2子以降出生者数</p> <p style="text-align: right;">年10件</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策5：妊娠及び出産の経済的支援の充実</p> <p>安心して子どもが産めるよう、出産期に係る経済的支援を充実します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦健康診査等受診交通費助成事業 ・妊産婦一般健康診査等助成事業 ・特定不妊治療費助成事業 等 	<p>子育て世帯における子育て支援策の満足度</p> <p style="text-align: right;">80%</p>
<p>◆施策6：交流の場の創出と結婚支援</p> <p>農業後継者の結婚支援として、農業に興味を持つ独身女性との交流パーティーを都市部において企画し、交流から成婚に繋がるよう支援します。</p> <p>また、民間企業と連携した結婚相談窓口を開設し、自信を持って恋愛や結婚に望むことができる若者を増やすための事業や講座・セミナーを開催し、結婚支援のサポートを充実させます。</p> <p>さらに、テーマ型コミュニティの創出により若者同士の交流を図るため、お試し住宅を活用したサークル活動の充実を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリパートナー対策推進事業 ・グループ婚活支援事業 ・結婚新生活応援事業 ・ライフパートナー探し応援事業 等 	<p>婚姻届出数</p> <p style="text-align: right;">年間 8 件</p>

方針2：沼田らしい教育づくり

沼田ならではの希望に満ちた豊かな学びの実現のため、夢や希望の実現に挑戦し、生涯にわたって自己実現を目指し、ふるさとに誇りを持ち、国際社会をたくましく生きる人材を地域ぐるみで育てていきます。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策1：コミュニティスクールの推進 学校・家庭・地域が連携した取組である「コミュニティスクール」を推進し、地域全体で子どもたちの学びを支え、地域の「絆」をつなぐ新たな学校づくりに挑戦します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティスクール運営事業 等 	<p>保護者・地域住民による学校支援参加者数 100人</p>
<p>◆施策2：国際化に対応できる生きた英語教育の推進 国際化に対応できる教育のため、ICTを活用した海外とのサテライト授業の実施、外国語指導助手の配置等を行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カナダポートハーディ地区(姉妹都市)との交流事業 ・外国語指導助手（ALT）の配置 ・まちなか英語空間体験事業 ・英語検定助成事業 等 	<p>「英語が好きだ」と思う児童生徒の割合 85%</p>
<p>◆施策3：小中一貫・連携教育「沼田学園」の推進 沼田町では幼小中一貫・連携教育「沼田学園」を強化し、社会で生きる人間力の育成に取り組んでいます。一貫・連携教育をさらに進め、今後の社会で生きる実践的な力と学力の醸成を図るため沼田ならではの特色ある教育を実践します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一貫・連携教育推進事業 ・学校ICT整備事業 ・学校教育振興事業（特別授業） ・学力向上対策事業 ・学習サポート事業 ・奨学資金貸付事業 ・学校教育推進事業 ・学童保育「こどもっくる」の充実 ・富山県小矢部市沼田町青少年交流事業(姉妹都市) 等 	<p>新体力テストにおいて全国平均値に到達している児童生徒の割合 45%</p> <p>全国学力学習状況調査の平均正答率が全国以上（全科目）</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：子どもの身体と心のケアの充実</p> <p>子どもの体力の低下は精神面に大きな影響を与えます。意欲や集中力を養うために、体力・運動能力の向上を図ります。また、スクールカウンセラーを配置し、多様化する子どもや保護者の心のケアを行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒体力向上対策事業 ・補助教諭、スクールカウンセラーの配置 等 	<p>新体力テストにおいて全国 平均値に到達している児童 生徒の割合（体育）</p> <p style="text-align: right;">45%</p>
<p>◆施策5：沼田らしい学びの場、キャリア教育の充実</p> <p>家庭・学校・地域が連携し、まちぐるみで地域資源を生かした教育を行い、世界に羽ばたく子どもを育てます。</p> <p>また、自然体験、農業体験、夜高あんどん祭りの参加、地元の職場体験、海外文化体験など沼田町独自のキャリア教育の充実を図ります。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まるごと自然体験プロジェクト事業 ・一貫・連携教育推進事業 ・キャリア教育の充実 ・シニアリーダー研修会の開催 ・自然体験キャンプ及び合宿通学の開催 ・こども交流ひろばの開催 ・芸術文化鑑賞事業 等 	<p>ボランティア研修等を自主 的に受けた人数 年間 20 人</p>
<p>◆施策6：多様な学習活動の推進</p> <p>町民一人ひとりが豊かな人生を送られるよう、文化や趣味に触れる機会を創出します。</p> <p>また、全世代が健康づくりとスポーツを楽しむ機会を設けるとともに環境づくりを推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがい講座 ・いきいき大学 ・地域環境博物館 ・社会教育推進事業 ・各種スポーツ大会の開催 ・体育振興事業 ・図書館事業 ・体育館改修の検討 等 	<p>町民が社会教育に関する事 業に参加する数</p> <p style="text-align: right;">年間 5,500 人</p>

【基本目標 4】

人生 100 年時代を安心して暮らせるまちづくりを目指す

沼田町では、コンパクトエコタウン構想のひとつである医療福祉の複合施設である「暮らしの安心センター」を拠点とし、高齢者の在宅医療福祉を推進するとともに、町民誰もがいつまでも健康でいきいきと暮らせることができるよう健康づくりを推進します。

また、高齢者の医療を含む相談支援、生活習慣病や介護予防、健康づくり、食育、子育て支援等、多世代型の地域包括ケアを実現し、誰にとっても生きがいがある、安心して暮らせるまちづくりを目指します。

指 標	基準値	目標
特定検診受診率	56.2%	65.0%
要介護認定者数	166 人	150 人

※基準値＝H30 度数値

【具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）】

方針 1：地域包括ケアシステムの実現

高齢者の医療を含む相談支援、生活習慣病や介護予防、健康づくり、住まい等、多世代型の地域包括ケアシステムを実現します。また、予防及び健康活動に力を入れることで医療費負担を削減し、その財源で子育て支援をさらに充実したものとすることで、町民誰もが健康で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策 1：高齢者の拠点施設周辺への住み替え促進</p> <p>高齢者を対象に、市街地の医療施設周辺の住まいや高齢者住宅への住み替えを推進し、コンパクトなまちを実現します。また、高齢者が安心して生活が続けられるよう、交通弱者の生活を支える交通システムを構築します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 高齢者住み替え促進事業・ 地域支え合い館建設事業・乗り合いタクシー事業・ 地域全体における交通システムの構築 等	<p>高齢者の住替え件数</p> <p>10 件</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策2：在宅・施設サービスの充実</p> <p>「暮らしの安心センター」を拠点に、高齢者の在宅医療福祉サービス、介護関連施設のサービス向上を図り、高齢者が生きがいをもち、安心して住み続けられるよう地域包括ケアの実現を目指します。</p> <p>また、将来にわたり安定した医療・介護サービスを提供するためには、介護職員を中心とした人材確保が必要であり、雇用対策及び処遇改善、魅力ある働きやすい職場環境づくりを推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪費助成事業・生きがいデイサービス事業 ・在宅介護サービス利用奨励手当支給事業 ・外出支援サービス事業 ・介護アドバイザー人材招聘事業 ・介護・医療人材雇用対策事業 ・外国人雇用対策の検討 ・地域包括ケア会議 等 	<p>高齢者が将来、介護が必要になった場合の生活において「自宅で生活したい」と思う割合</p> <p style="text-align: right;">55%</p>
<p>◆施策3：予防・健康づくりの推進</p> <p>町民の健康意識を高める事業を展開するとともに、自発的に取り組むことができるようサポートします。</p> <p>また、ICTを活用した健康・見守りの体制を検討し、安心した暮らしの実現を目指します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防事業 ・健康運動指導事業 ・特定健診受診事業 ・ヘルシーウォーキング事業 ・暮らしの安心センター関連事業 ・コミュニティカフェ事業 ・ICT活用による健康づくり・見守り事業 ・禁煙外来助成事業 等 	<p>介護予防教室等参加者数 (年間延べ人数)</p> <p style="text-align: right;">2,100人</p>

具体的な施策・事業	K P I
<p>◆施策4：医療福祉の経済的支援</p> <p>町民が健康で暮らすことができるための検診や予防接種等を行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種予防接種費用助成事業 ・各種健診等費用助成事業 等 	<p>特定健診受診率（再掲） 65%</p> <p>高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種率 年間40%</p>
<p>◆施策5：高齢者世帯への経済的支援の充実</p> <p>高齢者世帯が安心して暮らせるよう経済的支援を行います。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者任意肺炎球菌予防接種費用助成事業 ・高齢者世帯等福祉灯油助成事業 ・高齢者等入院交通費助成事業 ・高齢者世帯除雪費助成事業 ・「この町に住んで良かった」住環境整備費助成事業等 	<p>高齢者が将来、介護が必要になった場合の生活において「自宅で生活したい」と思う割合（再掲） 55%</p>
<p>◆施策6：高齢者活躍の場の創出（生きがい関連）</p> <p>高齢者がいきいきと暮らせるよう、趣味、ボランティア、雇用など活躍の場を創出するとともに、子どもも関わりを持てる地域全体での支えあいの場を検討していきます。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者活躍の場創出事業 ・ごちゃまぜの地域コミュニティづくり ・生きがい対策事業 ・高齢者雇用促進協議会の立ち上げ 等 	<p>新たな高齢者が活躍できる場 5ヶ所</p>
<p>◆施策7：食育の推進</p> <p>生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むための食育を推進します。</p> <p>【具体的事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼田町食生活改善協議会事業 ・食育関連事業 ・学校給食による地産地消事業 等 	<p>沼田町食改善協議会主催事業参加者数 年間延べ120人</p>

第2期沼田町総合戦略

令和2年3月

令和5年3月 一部改訂

北海道 沼田町 産業創出課

〒078-2202 北海道雨竜郡沼田町南1条3丁目6番53号

電話 0164-35-2155 FAX 0164-35-2393

E-mail sangyou@town.numata.lg.jp